

わくわくドキドキ新1年生入学

四月八日、入学式を終え、十八名の一年生が入学してきました。どの生徒たちも目を輝かせ、この日から始まる中学生生活に胸膨らませていました。一年生の喜びに満ちた気持ちを紹介します。

(青木 俊大)

小学校の頃とはちがうこともたくさんあってなれないこともありですが、勉強や運動をがんばりたいです。部活もがんばって結果が出せるようにしたいです。

(青木 葉月)

先生の言われることをしっかりと聞いて、自分の考えを持ちたいです。



す。部活では、積極的に意見を出して活動しようと思います。毎日楽しく、いい中学生生活にしていきたいです。

(安妻 若菜)

入学式ではすごく緊張しました。初めての自転車通学で、すごくドキドキしました。机もすべて木できていたり、授業も五分長くなったりと、小学校とはちがいます。はやくなれてがんばりたいと思います。

(井上 拓磨)

中学生になって、分からないことがたくさんあるけど、部活も勉強もがんばっていききたいと思います。字をていねいに、漢字を使って書くようにしたいと思います。



(井上 桃)

どんな勉強が始まるのかとても楽しみでした。金曜日に英語の宿題が出て、中学校は大変だなあと思いました。部活の見学をしました。「こんなことをするんだなあ。」と思いました。がんばろうと思いました。

(小椋 星柄)

中学生になって西栗倉に引っ越ししました。教室に入る時すごくドキドキしたけど、一週間もたったら名前も覚えて、友達もできました。みんなの名前を覚えて、友達をいっぱい作りたいです。

(小椋大二朗)

ぼくは、中学生になって部活とスキーをがんばりたいです。勉強もがんばりつつ部活やスキーをやりたいです。小学校のときとはちがう気持ちで、中学校生活をすごしたいです。

(河野 詩織)

入学式の時は、すごくドキドキしながら学校にきました。先輩の人達に大きな声であいさつをして教室に入りました。私の目標は、話を良く聞いて勉強をがんばる、です。

(河野 朋実)

提出物を期限までに出すことをしっかりとやっていきたいです。係の仕事にも責任を持って取り組みたいです。小学校とはちがいが、自主的に動かなければなりません。がんばろうと思います。

(小林 愛香)

中学校は教科によって先生がちがいます。学校の中には先生がたくさんいて、名前を覚えるのは大

変です。勉強もがんばるけれど、忘れ物をしないようにしたいと思っています。

(清水 雅仁)

いろんな先生が勉強を教えてくださいます。先生方からいろんなことを学びたいと思います。苦しいこともあるかもしれませんが、それを乗り越えていきたいと思えます。

(白岩 真美)

勉強時間が五十分になりました。姿勢良く勉強したり、ノートを分かりやすくまとめたりしたいです。今までと生活がずいぶんちがうけど、がんばってやりたいです。

(新免 知明)

一番楽しかったのは、英語の授業でした。小学校の英語とは少しちがって、とても新鮮な感じがしました。とてもおもしろい先生で、宿題も多いけど笑いも多いのでがんばれます。英検五級をめざしてがんばります。

(萩原 弘嗣)

中学校はとても楽しいです。ぼくは、ボランテニア部に入りました。みんなといっしょにがんばりたいです。勉強もがんばります。

(平田 梨香)

がんばりたいことは勉強と部活です。小学校より難しくなるから、いっしょけんめいに勉強します。部活も、自分なりに積極的に取り組みたいと思います。

(宮脇 彩)

入学式の際は緊張や不安もあったけど、今は少し慣れました。部活は三年間ずっとがんばりたいと思います。先輩や先生の言われることを良く聞いて、がんばっていきたいと思います。「中学生」という自覚を持って生活したいです。

(山崎 美笛)

中学生になつての決意は、楽しく、仲良く、笑顔です。です。楽しくやればやる気が出るし、仲良くすれば笑顔が増えるからです。

もう一つは、忘れ物をしないということです。

(山下 七瀬)

私がんばりたいことは、その日に習ったことをノートにきちんとまとめて、復習をすることです。そのノートで勉強をして、テストにそなえたいです。そのことを続けていきたいです。

☆入園おめでとう

幼稚園の園庭の桜もきれいに咲いた4月11日(金)、平成20年度、第46回の入園式を行いました。

今年度は、かわいい9名のお友だちが入園してきました。入園して数日は、お家の人との離れ際に不安そうな表情を見せる子どももいましたが、幼稚園生活に慣れてきた子どもたちは楽しそうに登園しています。今年度の一年間を子どもたち・保護者の方々・職員とで力を合わせながら「**伸び伸び元気に笑って過ごしたい**」と思っています。地域の皆様も温かく見守ってくださいとうれしいです。



今年度は、うさぎ組(3歳児)

9名・くま組(4歳児) 9名・ぞう組(5歳児) 11名、合計29名でスタートしています。職員は今年度、新規採用の先生2名を迎えました。

園長 小林久美

3歳児うさぎぐみ担任 福島 舞

4歳児くまぐみ担任 笠岡景子

5歳児ぞうぐみ担任 檀原智子

臨時教諭 江見米代

預り支援 福島久子・田中好美

白簞益枝

で、今年1年間、地域に愛される幼稚園を目指して、ゆっくり一歩

☆アルミ缶回収のご協力 ありがとうございます

いつも幼稚園のPTA事業・アルミ缶回収にご協力いただきまして、大変ありがとうございます。平成19年度も、アルミ缶回収の利益で有意義なPTA活動を行うことができました。今後も協力どうぞよろしく願っています。

なお、幼稚園ではアルミ缶のみ回収しています。スクール缶・缶詰の缶などは回収できませんので、ご確認のほどよろしく願っています。



一歩、歩んで行こうと思っております。皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。

「六年生 最初の一週間」

小学校生活最後の一年間がスタートしました。最高学年として迎えた最初の一週間の気持ちを紹介します。

●河野 拳人

委員会の時に、初めて司会をしました。初めてなのにやらないといけないことが大量にあって、大

変でした。わからないことは先生に聞きながらやってみました。前の六年生のようにうまくいきませんでした。これからは、前の六年生のようにスムーズに会を進めていきたいと思っています。

●白旗 克佳

入学式の前に一年生のお世話を

するのが大変でした。ぼくは、(弟のめんどうを見る時みたいいやればいいや...)と思っていましたが、一年生のおうちの方にずっと見られていたので、何をしても気を使えばなしで、体がガクガクになりました。弟とはちがうなあと思いました。

●石井 いぶき

私がこの一週間で一番心に残ったのは、入学式です。私を手をつなぐのは「いのうえ けいた」さんでした。迎えにいった時、とてもきんちようしていました。私もきんちようしていて、頭の中のスケジュールがぬけていきそうでした。そんな中、入学式は無事に終わりほつとしていました。これからいろんなことがあると思うけど、いつも六年生としての自覚をもち、周りにいる人のことを考えられるようになりたいです。

●河野 冴耶

始業式の日、六年生教室に入る時、とても違和感がありました。何回か五年生教室に入ろうとして、

まちがえてしまいました。その時に、今まではだれかがやってくれ、という気持ちが強かったけど、これからは自分たちがしないといけないんだなと思いました。入学式では、かわいい一年生を迎えるために、朝から大変でした。来賓の方々や保護者の方、そして先生や在校生のみんなにやさしく迎えられるのを見て、自分が一年生の時もこうやって迎えてくださったんだなあと感じました。

●矢代 喬之

六年生になって、最高学年になりました。新一年生が入ってきて、とてもうれしかったです。これから一年生には、いろんなことを教えてあげたいです。それと、一緒に「おにごっこ」などをして遊びたいです。弟には勉強を教えます。

●安藤 甲斐

最初の一週間は、いろいろなことがありました。特に入学式が大変でした。一年生とは初対面なので、話しづらかったりきんちようしたりしました。ぼくは、女の子

の担当だったので、男の子とは違ってお世話が難しかったです。教室にちよつと遊びに行くと、名前を覚えてくれていました。これからは、もつと仲良くしたいです。

●政久 秀美

入学式では、私が一年生だった時のことを思い出して、やさしく安心できるように接しました。一年生がきんちようして固くなっていたので、少し心配になりました。座っている一年生を見ると、じつとしていて良い姿勢だったので感心しました。これから私は児童長として、みんなが小学校に行くのが楽しいと思える学校にしたいと思います。

●神原 昌嗣

一番心に残っているのは、音楽の教科書を忘れてしまったことです。忘れ物をなくそうと思っていたのに忘れてしまったからです。登下校では、一年生がたくさん加わりましたが、ちゃんと言うことを聞いてくれています。それに、

おられてくる人も一人もいません。身体測定では、自分の身長や体重が減っていなくて、良かったと思いました。これからも、六年生としてがんばります。

●金田 玲奈

この一週間で一番心に残っているのは、やっぱり入学式です。私が見つけないのは、「おぐら そうま」君と「いんべ ゆな」さんでした。二人と手をつながないといけなかったもので、とても心配になりました。でも、きんちようしていた気持ちの方が大きかったので、一年生といろんなことをしゃべりました。やさしい言葉がけが、少しはできたんじゃないかなあと思います。これからは、もつとやさしい言葉を使っていきたいです。

●新田 壮史

最初の一週間で一番大変だったのは、入学式でした。でも、一番印象に残っているのは、委員会でした。たくさん意見が出て、お

もしろいのですが、それをまとめ持った限りは全力をだしていきたいのは大変でした。でも、そういう仕事はぼくの仕事なので、受けいす。

今年4月で西栗倉小学校を退任された先生方からご挨拶をいただきましたので、紙面を借りて報告します。お世話になりました。

退任のご挨拶

陽春の候、皆様にはますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。お子様も、進級・進学喜びに大きく胸をふくらませておられることと思います。

さて、このたびの人事異動で、私たち5名の者が西栗倉小学校を去ることとなりました。豊かな自然につつまれた、伝統ある西栗倉小学校で明るく素直な子どもたちと楽しく過ごすことができ、また、充実した教育活動に日々取り組むことができましたことを幸せに思っております。

私たちは、それぞれの立場で全力を尽くしてきましたが、力量不足のため皆様のご期待に十分応えることができなかつたのではないかと思っております。保護者の皆様をはじめ、地域の皆様方から力強いご協力とご理解、温かいお励ましをいただき、心より厚くお礼申し上げます。

今、私たちは、たくさんさんの思い出を胸にお別れいたしますが、西栗倉小学校での貴重な体験を新しい場で活かしていくよう努力したいと思えます。西栗倉小学校のますますの発展と皆様のご健勝並びにお子様のご成長を心よりお祈りして、転任のご挨拶とさせていただきます。

平成二十年四月吉日

西栗倉村立西栗倉小学校転任者一同